

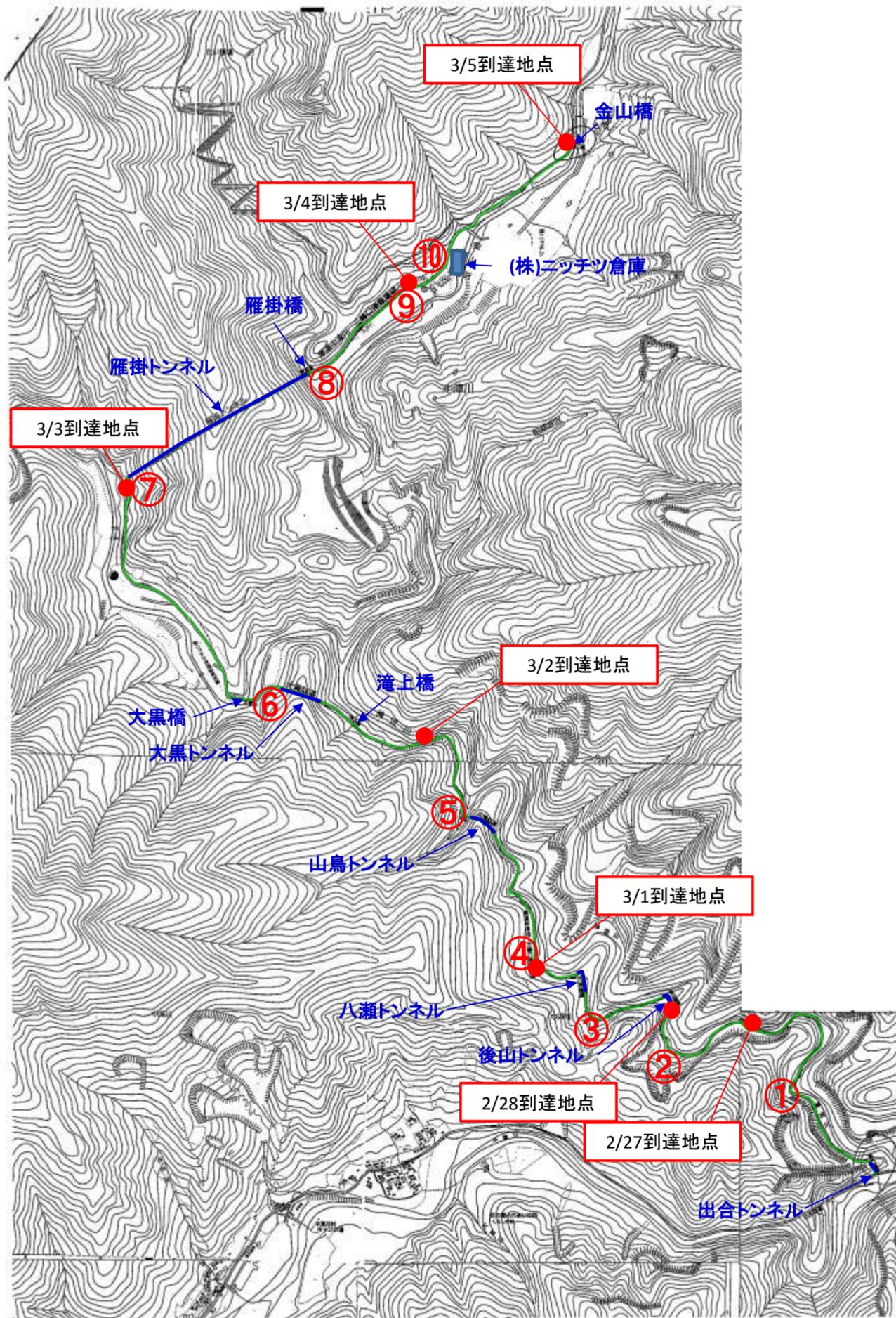
埼玉県秩父市派遣TEC-FORCE活動記録

【 雪 崩 】

平成26年2月26日～平成26年3月6日

町田建設株式会社

県道中津川三峯口停車場線 主要雪崩危険箇所と斜面点検結果



⑨郵便局手前
 ・灌木を含んだ表層雪崩が道路上に堆積。
 ・バックホウでの除雪の際には、山側を広く残し落石等に対して堆積スペースをつくるように指示。



⑩ニッチツ倉庫脇
 ・表層雪崩が県道上に大量に堆積しているため、バックホウで埋没物を検索しながらの除雪を指示。
 ・落石防止柵の裏に小段を作り、県道上の堆積雪を掘り下げるよう指示。



⑦雁掛トンネル入口
 ・雪崩が県道を越流し、下の林道まで堆積。
 ・沢内に残雪は殆ど見られず、二次発生の危険度は低いものと思われる。
 ・除雪幅は谷側の最小限幅とし、雪壁の山裾は厚く残すよう指示。



⑧大黒トンネル出口
 ・出口左上の斜面に残雪が見られ、一部が出口方向へ流下する恐れがある。
 ・流下した雪塊が道路を直撃しないように、路肩の雪壁を広く残すよう指示。



⑤山鳥トンネル出口
 ・沢出口が道路に向いているため、除雪前に雪足場を利用して雪堤を構築。(H=2.5m,L=4m)



⑥大黒橋手前
 ・沢出口に落石ネット等の施設が無いいため、除雪完了後の道路防護として雪堤を構築。(H=2.5m,L=6m)



③八瀬トンネル手前
 ・落石ネットが空いており、雪崩阻止に有効。
 ・左斜面の沢内に氷が残っているため要注意。
 ・落石ネットに雪圧が掛かっているため、除雪時には山裾の雪壁を厚く残すよう指示。



④八瀬トンネル奥
 ・落石ネット張り替え作業時、法面上部の雪を多く削取り、上債荷重の軽減化を図るよう指示。
 ・除雪時には最小限の幅員確保に止めるよう指示。



①埋没車両手前
 ・斜面上部に残雪が少なく、大規模雪崩の危険度は低下している。
 ・落石ネットが空いているので、雪崩阻止に有効。
 ・作業員の待避場所の確認と、退避命令の合図を徹底しておくよう指示。



②後山トンネル手前
 ・右斜面の雪崩に対しては落石ネットに堆積余裕があり、阻止効果は高い。
 ・左斜面には少量の残雪があるが、地山が露出しているため、流下した雪が道路まで到達する危険度は低い。
 ・除雪幅は谷側1車線分に止めるよう指示。

雪崩パトロール状況



出合トンネル～滝上橋間現地踏査(2月28日)



県土事務所報告(2月28日)



斜面監視状況(3月1日)



滝上橋～金山橋間現地踏査(3月4日)

最終報告

2/27日より作業を始め、1週間後の3/5には最終目的地である金山橋までの除雪を完了した。
しかしながら、雪崩に対しての危険箇所は依然として多く残っており、今後についても一般車両の通行止め規制が必要。また、ニッチツ等の関係車両についても出入り時の人員・車両管理が重要と思われる。

上記の通り、県土事務所にて報告(3月5日)



2/27 ダンプトラック撤去状況



2/28 雪崩危険箇所の踏査確認



3/1 ネット張替作業時の斜面監視



3/2 先遣隊による表層雪崩の痕跡確認



3/3 大黒トンネル通過状況



3/4 ニッチツ事務所脇除雪状況



3/5 ニッチツ事務所脇除雪状況



3/5 作業完了